プレコンサポーター

企業編（東京海上日動火災保険株式会社）

プレコンサポーターによる
プレコン普及の第一歩

企業編（東京海上日動火災保険株式会社）
プレコンサポーターによるプレコン普及の第一歩

基礎情報（令和８年３月１日時点）

創業	明治12年8月	**従業員数**	16,304名（令和７年3月31日現在）
本社所在地	東京都千代田区大手町二丁目6番4号	**業種**	損害保険業
代表者	代表取締役社長　城田　宏明	**URL**	https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

課題・経緯

・将来の選択を支える「プレコンセプションケア」に取り組むことは、企業の持続的成長のみならず社会課題の解決にもつながると共感
・また、保険会社が持つミッションとプレコンセプションケアとの親和性の高さを認識し、貢献できる領域について検討を開始
・一方、社内でのプレコンセプションケアの認知度が２割程度に留まっていたことから、まずは社内での理解促進が重要であると捉え、その取組の第一歩として、社員がプレコンサポーター養成講座（基礎編）を修了
・養成講座の内容や他社の事例等を参考に、伝え方や配慮の必要な観点などについて検討し、自らが講師となって社員向けセミナーを開催





▲ 社員が取得したプレコンサポーター養成講座（基礎編）終了証

取り組みの全体像

PICKUP **・プレコンサポーター（社員）によるプレコンセプションケア社内セミナーのトライアル開催**

【参考】 従来より上記課題・経緯とは別に実施してきた健康支援施策

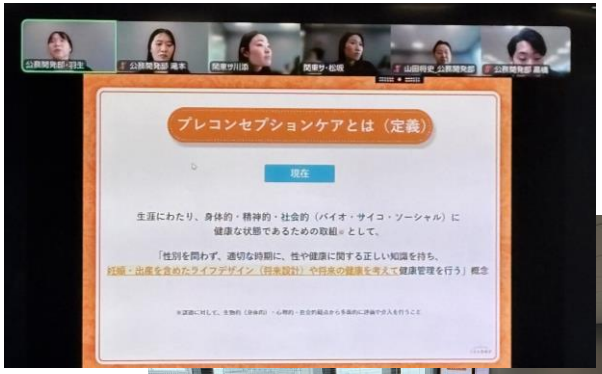
・若年層健康づくり施策（若年層健康week・カラダ変革委員会）におけるプレコンセミナーの開催及びアーカイブ動画の配信
・女性のライフステージと健康ポータルサイトにおける社内向け情報提供
・生理休暇　→　ミモザ休暇への名称変更（生理休暇の取得のしやすさに向けた取組）
・ライフサポート休暇の新設（育児・介護・疾病治療（不妊治療を含む）のための時間単位で取得可能な休暇制度）

企業編（東京海上日動火災保険株式会社）
プレコンサポーターによるプレコン普及の第一歩

PICKUP

プレコンサポーター（社員）によるプレコンセプションケア社内セミナーのトライアル開催

セミナー当日の様子 ▼





対象
社会課題解決に取り組む関係部署社員（約20名）

形式
・対面及びオンライン配信によるハイブリット開催
・プレコンサポーター養成講座（基礎編）を修了した社員自らが企画し、講演
プレコンサポーター講演用資材※を基に講演
※プレコンサポーター講演用資材URL
https://precon.cfa.go.jp/precon-supporter/

プログラム
①社会課題としてのプレコンセプションケア
（プレコンセプションケア推進５か年計画の説明等）
②いまの自分を知ろう
③生活を整えよう
④人生をデザインしてみよう
⑤プレコンサポーターの周知

効果
・セミナー開催により、プレコンセプションケア普及の第一歩となった
・社員のみならず社内関連部署での認知度や関心度も高まり、今後の社内外での推進に向けた仲間づくりができた
・事後アンケートにより、今後の普及に対する社内外の課題の把握や、社員自身が考える契機とすることができた

今後の目標・展望
・次年度以降は、セミナーの対象地域を広げ、より多くの社員にプレコンセプションケアの普及促進を図る
・社会課題解決を担う企業として、自治体、他企業等と連携し、プレコンセプションケアの普及に資する取組を検討する